

仕事の誤解

×時間がたくさんあればいい仕事ができると思うのは誤解だ！

仕事はその日のうちにやるのが鉄則だ。

本当に仕事ができる人は、「忙しい」とか「大変だ」という言葉を使わないものだ。毎日毎日、確実に、仕事を上げていくのが仕事の鉄則だ、ということ十分に理解しているからだ。

一方で、仕事ができない人ほど、「忙しい」とか、「大変だ」とか、「助けてくれ」と、さも仕事をしているような素振りをすることが多い。仕事の量は客観的に見て、仕事ができる人の方が多く抱えているのである。なぜだろうか？それは、今日やる時間があるのに、納期はまだ先だから、その日にまでにやればいいや。もっとひどい人になると、納期を過ぎて催促されたら、すぐやればいいや、そんな風にさえ考えているからだ。あなたの周りを見てほしい。仕事のできない人ほど、のんびりゆっくり時間を無駄使いしていないだろうか？

※ 今日中に回答する信頼

高収益を上げて精鋭社員で固めている R 社は、仕事を受けた時、「いつまでにやればいいですか？」という普通の会社で使われている言葉は使わない。その言葉は、この会社言わせると「緊張感が欠けている」となる。なぜなら、その会社では、「全ての納期はその日」がルールとなっているからだ。社内だけではなく、お客様に対しても、即日の返答がルールとなっている。たとえば営業マンの回答も、たとえ結論がでなくても、経過をその日のうちに連絡する。そのスピーディーな対応が業界随一の特色であり、競合会社のないお客様との信頼関係を獲得している。これが、高収益の秘密なのである。

※ 本当の仕事しよう

今日の仕事を今日のうちに片付けることは、一人ひとりの自覚が生まれる。今日の仕事を明日に引き延ばせば、明日の時間に今日の仕事をやることになり、明日の時間が減る。その悪循環が毎日続けば、たとえば 1 ヶ月で半月分の仕事しかこなせないことになる。「忙しい」という口癖は、会社の利益を減らす「悪魔の言葉」と考えよう。

1) 仕事ができない人はなんと言いますか？…3 つ

() () ()

2) 仕事のできない人は何を無駄にしていますか？

()

3) R 社のルールは何ですか？

()

4) ここでいう「悪魔の言葉」は何ですか？

()

5) 4)で答えた口癖は何を減らすと言っていますか？

()